

那加二東部

# 福祉だより

## 第 10 号

平成10年8月15日発行

編集・発行

各務原市社会福祉協議会

那加二東部支部

### 8月は社会福祉協議会の会員募集月間です!!

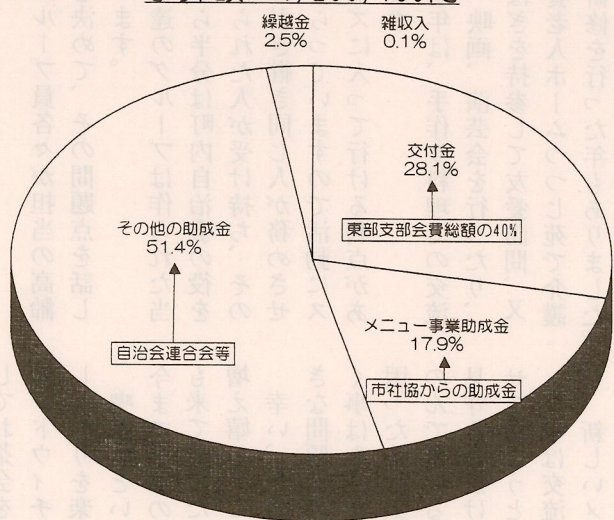
—— 40%が支部活動の財源に ——

- 社会福祉協議会(社協)は法に基づいた公共性の高い民間の社会福祉法人で、全国の市町村にあります。
- 行政と協力しながら、住民が主体となって福祉活動を推進しています。
- 主な活動財源は、会費と寄付金です。
- 会費の40%が、地域の福祉活動の財源になります。

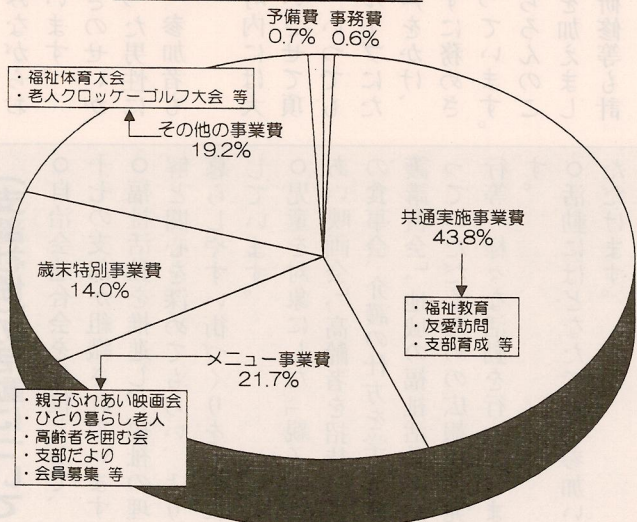
自治会を通じて会員募集を行います。社協の趣旨並びに活動についてご理解をいただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 平成10年度 那加二東部 収入・支出予算

《収入》 予算額 1,286,139円



《支出》 予算額 1,286,139円



平素は地域福祉活動に格別のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

この度従来の「社協だより」を今回から「福祉だより」と改名をいたしました。

皆さんで読んで、学ぶ。ものは得をする、知らない人は

八月は社会福祉協議会会員募集の月間です。今年の支部目標は全戸加入。一部増額推進です。益々のご理解とご協力をお願い申し上げます。炎威なおさかな折、ご自愛專一に。

損をする。皆さんで時代を先取りしましょう。

各務原市社会福祉協議会  
那加二東部支部長  
山田 一夫

## みんなの力で福祉の街を!!

### 平成10年度 那加二東部支部 年間活動計画

年月	活 動 計 画	年月	活 動 計 画
10年4月	●自治会連合会長・社協支部長・民生児童委員総務合同会議(14日) ●支部理事会(23日) ●給食ボランティア ●つつじ苑奉仕作業	10月	●支部理事会 ●東部連合会市民運動会共催 ●つつじ苑奉仕作業 ●岐阜県社会福祉大会参加 ●独居老人・高齢者を囲む会(29日)
5月	●支部役員総会(6日) ●支部長・福祉推進員合同会議(29日) ●つつじ苑奉仕作業	11月	●市身障者レクリエーション大会(3日) ●市社会福祉大会(20日) ●つつじ苑奉仕作業
6月	●老人クロッカーゴルフ大会 ●つつじ苑奉仕作業 ●地域リーダー研修会(24日) ●支部だより編集委員会	12月	●歳末地域福祉座談会(2日) ●給食ボランティア ●独居・ねたきり老人友愛訪問 ●つつじ苑奉仕作業
7月	●自治会連合会長・社協支部長・民生児童委員総務合同会議(9日) ●会費趣旨説明会(中旬) ●つつじ苑奉仕作業 ●給食ボランティア	11年1月	●近隣ケアグループ反省会 ●つつじ苑ボランティア反省会 ●つつじ苑奉仕作業
8月	●親子ふれあい映画会(1日) ●支部だより第10号発行(15日) ●社協会員募集推進(1日~31日) ●地域介護講習会(6日) ●ラジオ体操参加 ●つつじ苑奉仕作業	2月	●支部長・福祉推進員合同会議 ●給食ボランティア ●つつじ苑奉仕作業 ●支部だより編集委員会
9月	●市福祉フェスティバル参加(6日) ●敬老のつどい参加 ●自治会連合会長・社協支部長・民生委員総務合同会議(17日) ●給食ボランティア ●高齢者友愛訪問 ●つつじ苑奉仕作業	3月	●支部理事会 ●支部会計監査 ●支部役員総会 ●つつじ苑奉仕作業 ●支部だより第11号発行(31日)



# 地域福祉に思う

民生児童委員 田口 智子

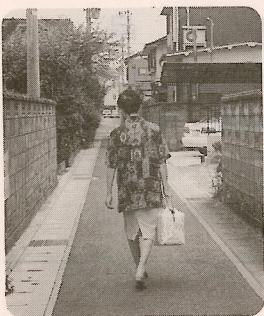
毎年この時期、福祉フェスタバルに備えて、バザー用品を見繕う。

福祉フェスタバルで、各種団体が福祉をアピールして、市民全体の福祉の心呼び起こし、社会的弱者への理解を深め、積極的にかかわっていく意識を養うために、祭典がくり広げられる。模擬店やチャリティバザーで、活動費を得るべく終日奉仕する。

社会福祉協議会が果たす役割も大きく、多岐にわたる。支部社会福祉協議会ともなれば、地域と密接に、地域ぐるみで福祉にかかわれば、充実した援助ができるのではないだろうか。

社会福祉協議会の会費・賛助金等が、活動費の一助を担い、引いては援護活動へ還元できると思うのです。

社会福祉協議会那加二東部支部の皆様も、地域福祉のために、会費の拠出に、ボランティアに、積極的に参加しましょう。



▲高齢者の友愛訪問に向うボランティア

# 私の町の近隣ケアグループ活動（楠町五丁目）

代表 井奈波 泰江

私達楠五近隣ケアグループは六名のグループ員で構成されています。

毎年年度始めに民生委員、自治会長を囲んでグループの顔合せを行います。そこで、民生委員からグループの役割と心得を自治会長からは町内在住の高齢者の名前や様子等をお聞きしま



▲近隣ケア活動についての説明を熱心に聞く皆さん

グループ員各々が担当の高齢者を決めて、その問題点を話し合います。

私達のグループは作られた当初から半分は町内自治会の役を受けられた人が受け持ち、その他は引き継ぎ同じ人が務めさせてもらっていますので活動にスムーズに入って行ける利点があります。

過年は、手作り料理での交流会、映画、演芸会を行ったり、おほぎを持参して友愛訪問、又、特養老人ホームつじ死で介護の研修を行った年もありました。一昨年からは町内の喫茶店にて七十歳以上の高齢者をお招き

してお茶会を催し、コーヒーとサンドウィッチをつまみながらおしゃべりを楽しんでいます。

喫茶店という気軽さのせいか、今まで参加の少なかった男性にも来ていただける等、参加者も増え嬉しいことです。

幸い、今のところ町内には大きな問題点やお手伝いさせて頂く事はありませんが、いつでも困った時は気軽にグループにたのんで頂けるように声をかけ、見守る心掛けを忘れずに務めさせて頂こうと話し合っています。今年には交流会はもちろんのこ

# 「みこし」に見えた、三世代の「ふれあい」について

祭りには、楠町全町あげての参加が見られ、子供会を中心とした「みこし」が数日を要して作り上げられ、当日は老若男女を交えた多くの人達が集まり、町内をねり歩きました。

特に感動させられたことは、「みこし」の休憩中に、高齢者の方々が、自分の孫でもない幼子



▲いい音がするね

このような会話の中から、日本の伝統が次の世代へと伝えられて行くのだなあと思えました。また、ある高齢者の方が「こういう事が、いつもあると我々も毎日が楽しく、元気に暮せるのになあ」と一言、私達にとっては、耳の痛い言葉でした。口には出されなかったけれども、このような気持を持ってい

**支部社会福祉協議会（支部社協）の活動について**  
○自治会連合会を単位として、十七の支部が組織されています。  
○福祉活動を推進し、福祉の理解と関心を深めてもらい、より暮らしやすい街づくりを目的にしています。  
○児童を対象にした「親子ふれあい映画会」、高齢者を招待しての食事会、介護の仕方を学ぶ「介護講習会」、地域の福祉活動を知っていたりするための広報紙の発行等、様々な活動を行っています。  
○活動にはどなたでもご参加いただけます。

楠町連合会長 中村 侯男

られる方が多いと思います。これを機会に、今後は恒例化された町内の諸行事をただ消化するのではなく、企画の段階から高齢者の方々に始め、各種団体の代表の方々にも参加していただき、老若男女全員が、積極的に参加出来るような行事へと改善し、参加者全員が、お互いに声をかけあい、励まし助けあいの出来るような行事に取り組むのも「温もりとやすらぎのある福祉のまちづくり」の第一歩ではないかと考え、実行してきました



▼「みこし」を通してふれあいを深める

今回は楠町連合の活動を紹介しました。次回は桜町の予定です。